

加古川減災対策協議会について

姫路河川国道事務所長
朝田 将

加古川 加東市上滝野

H25.9.16(台風18号出水)における
加東市上滝野付近のCCTV画像より

水防災意識社会 再構築ビジョン

関東・東北豪雨を踏まえ、新たに「水防災意識社会 再構築ビジョン」として、全ての直轄河川とその沿川市町村（109水系、730市町村）において、平成32年度目途に水防災意識社会を再構築する取組を行う。

<ソフト対策> ・住民が自らリスクを察知し主体的に避難できるよう、より実効性のある「住民目線のソフト対策」へ転換し、平成28年出水期までを目途に重点的に実施。

<ハード対策> ・「洪水を安全に流すためのハード対策」に加え、氾濫が発生した場合にも被害を軽減する「危機管理型ハード対策」を導入し、平成32年度を目途に実施。

主な対策

各地域において、河川管理者・都道府県・市町村等からなる協議会等を新たに設置して減災のための目標を共有し、ハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進する。

<危機管理型ハード対策>

- 越水等が発生した場合でも決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう堤防構造を工夫する対策の推進
いわゆる粘り強い構造の堤防の整備

<被害軽減を図るための堤防構造の工夫(対策例)>



<洪水を安全に流すためのハード対策>

- 優先的に整備が必要な区間において、堤防のかさ上げや浸透対策などを実施

<住民目線のソフト対策>

- 住民等の行動につながるリスク情報の周知
 - ・立ち退き避難が必要な家屋倒壊危険区域等の公表
 - ・住民のとるべき行動を分かりやすく示したハザードマップへの改良
 - ・不動産関連事業者への説明会の開催
- 事前の行動計画作成、訓練の促進
 - ・タイムラインの策定
- 避難行動のきっかけとなる情報をリアルタイムで提供
 - ・水位計やライブカメラの設置
 - ・スマホ等によるプッシュ型の洪水予報等の提供



※ 河川堤防の決壊に伴う洪水氾濫により、木造家屋の倒壊のおそれがある区域

加古川減災対策協議会 減災のための目標

平成16年台風23号、平成27年9月関東・東北豪雨の教訓を踏まえ、いつか起きる大規模水害に備えるため、以下を目標とする。

■5年間で達成すべき目標

1. 水害リスクに関する十分な知識と心構えを行政や住民等が共有することで水防災に対する意識の『継承』・『再構築』を図る(水防災意識社会の再構築)
2. 河川整備を着実に進めていくことと合わせて、いつか起きる加古川の大規模水害に対し「逃がす・防ぐ・回復する」ための『備えの充実』を図る。

上記目標達成に向け、洪水を河川内で安全に流すハード対策に加え、加古川において、以下の項目を5本柱とした取組を実施する。

- ① 行政や住民等の各主体が、「施設的能力には限界があり、施設では防ぎきれない洪水は必ず発生するもの」へと意識を変革する取組み
- ② 水害を経験した地域では防災意識を継承し、住民に被災経験が無い地域では「水害に遭うかもしれない」という意識を再構築する取組み
- ③ 住民等の逃げ遅れをなくす、的確な避難行動のための情報伝達の取組み
- ④ 氾濫時に人命と財産を守る水防活動の強化
- ⑤ 一刻も早く日常生活を回復するための取組み

概ね5年で実施する取組

1) ハード対策の主な取組

■ 危機管理型ハード対策

- ・天端の保護
- ・裏法尻の補強

■ 避難行動、水防活動に資する基盤等の整備

- ・水防拠点となる施設の整備検討
- ・簡易水位計、量水標の設置
- ・CCTVの設置

■ 洪水を安全に流す対策

- ・滝野地区の堤防整備
- ・高砂・尾上地区、大門地区、滝野地区等の河道掘削
- ・堤防の浸透、浸食、洗掘対策

2) 住民目線のソフト対策の主な取組

意識変革、防災意識の継承・再構築、情報伝達に関する取り組み

■ 想定される浸水リスクの周知

- ・最大規模洪水を対象とした洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの策定、公表
- ・地域住民及び学校等への水災害教育の実施
- ・意識変化を確認するための手法(住民アンケート等)の検討・実施
- ・最大規模洪水を対象とした**浸水CGの作成、公表**
- ・最大規模洪水を加味した洪水ハザードマップの検討・作成

■ 避難勧告等の発令

- ・タイムライン(案)の検証、及び改善に向けた検討
- ・避難判断水位、氾濫危険水位等の検証及び見直し

■ 避難場所、避難経路

- ・広域避難も含めた、避難場所及び避難経路の検討
- ・地域防災計画の検討、更新

■ 住民等への情報伝達の体制や方法

- ・協議会参加機関のホームページ等を活用した、情報提供内容の検討
- ・発表の対象区域や避難の切迫性等が住民に伝わる洪水予報文、伝達手法の検討
- ・最大規模洪水時の避難情報提供のあり方検討
- ・**スマートフォン等を活用したプッシュ型情報の発信**・普及活動の検討
- ・外国語に対応した情報提供の実施

■ 避難誘導體制

- ・「自主防災組織で避難誘導にあたる人材」の育成
- ・避難行動要支援者に対する、避難計画の作成
- ・高齢者に対応可能な、避難誘導の検討

■ 避難に関する啓発活動

- ・市が主催する防災訓練の検討、実施
- ・最大外力洪水または計画規模洪水を対象とした**マイ防災マップ等の更新、作成**
- ・**関係機関と協力・連携した普及啓発活動(出前講座等)の実施**

氾濫時に人命と財産を守る水防活動の強化に関する取り組み

■ 水防体制

- ・若年層の消防団加入促進を図る普及啓発活動を実施
- ・重要水防箇所を姫路河川国道事務所ホームページ等で公表
- ・溜め池の決壊や内水氾濫、最大外力等を踏まえた避難態勢の整備に務める
- ・**関係者による重要水防箇所等の共同点検**を実施

■ 河川水位等に係る情報の提供

- ・洪水時のCCTVによる堤防監視、施設監視の強化
- ・洪水時に提供可能な水位データやCCTVの設置検討
- ・河川管理者による水位予測情報の提供

■ 水防資機材の整備

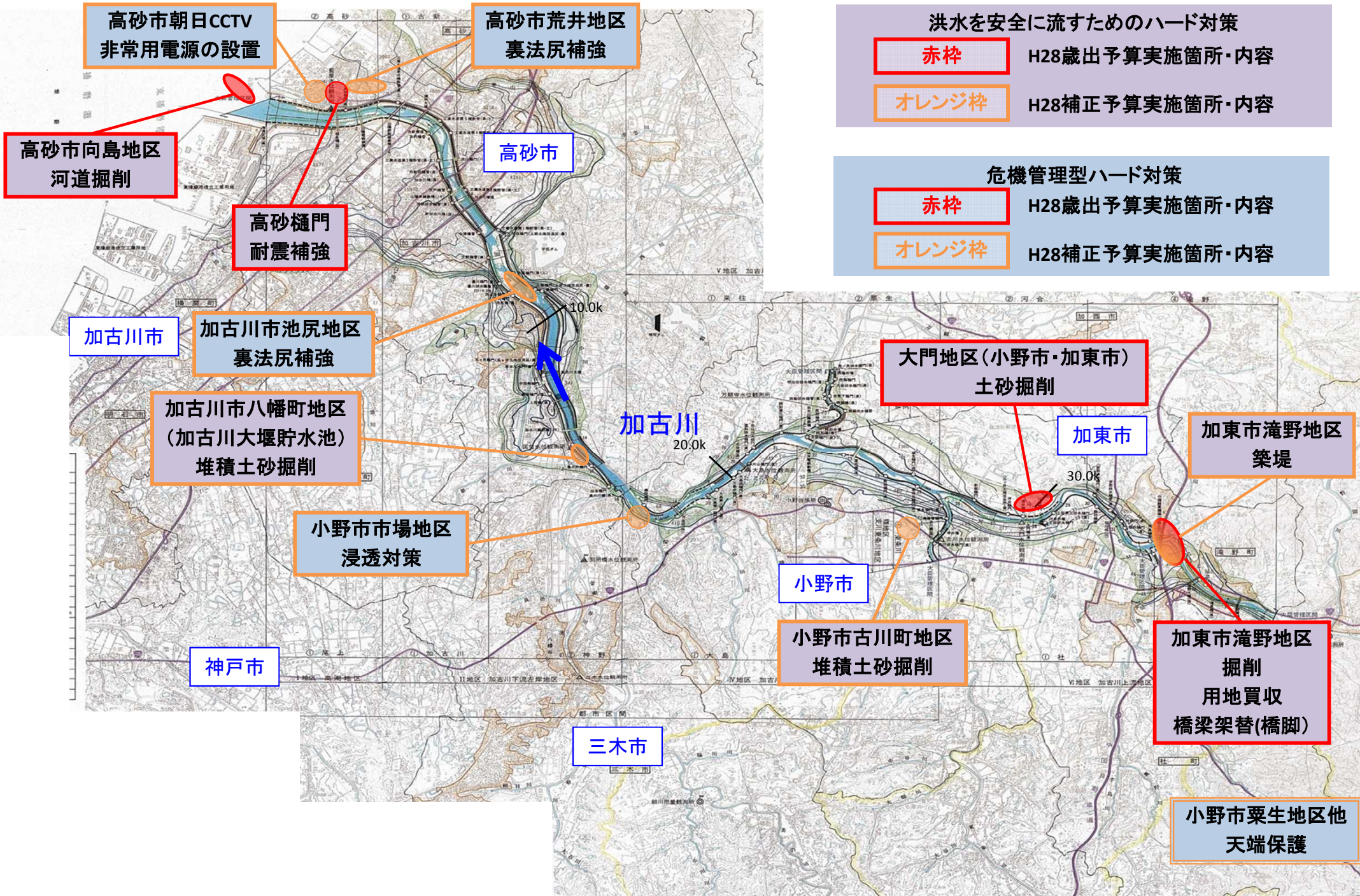
- ・水防倉庫等の配置計画を再検討
- ・水防資機材の備蓄状況について、自治体に情報提供を実施

一刻も早く災害から復旧するための取り組み

■ 氾濫水の排水

- ・氾濫水を迅速かつ的確に排水するための排水計画(案)の策定、見直し
- ・排水計画(案)に基づく排水訓練、及び関係機関との合同訓練の実施

ハード対策：H28歳出及び補正予算で実施する箇所



加古川中流部河川整備推進協議会の開催

第1回加古川中流部河川整備推進協議会を開催

H28.8.30

～加古川中流部の効果的かつ効率的な河川整備の推進に向け、

国・県・市の連携・協力体制を構築～

－ 姫路河川国道事務所 －

平成16年10月台風23号出水により甚大な浸水被害を受けた加古川中流部の加東市・西脇市域では、その後実施された緊急的な治水対策以降も、平成23年、25年と浸水被害が相次ぎ発生しており、早急な河川整備が必要となっています。

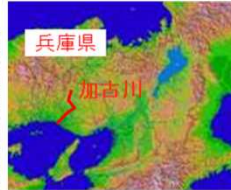
そのため、国及び県の管理区間を跨いだ加東市・西脇市域において、国・県・両市が連携・協力し、地域と一体となって、集中的かつ計画的な予防的緊急治水対策を推進することを目的とした協議会を設立し、この度、第1回協議会を開催しました。

協議会では、協議会の目的や実施項目の確認、河川整備の現状と課題の情報共有を行いました。今後は、今回の協議会で確認した課題等を踏まえ、目標や課題に対する役割分担等を明確化し、計画的かつ地域に見える形で早期に河川整備を進めていきます。

協議会の概要

対象河川：加古川水系加古川

- 日 時：平成28年 8月30日（火）14：00～15：30
- 場 所：加東市立 社福祉センター 2Fレクリエーション室
- 委 員：近畿地方整備局 井上河川部長、朝田姫路河川国道事務所長
兵庫県 糟谷県土整備部長、平井加東土木事務所長
西脇市 片山市長、加東市 安田市長



協議会状況



西脇市長



加東市長



近畿地方整備局 河川部長



兵庫県 県土整備部長

【主なご意見】

- 川にとっては、国・県管理の境や市境は関係がない。整備によって下流の流量が変わると理解している市民もそうじゃない。加東市域で実施される事業についても、西脇市民にとっても良いことであり、西脇市民としても関心を持ち、できることは後押ししたい。
- 全国で「今まで何十年住んできたけどこんなことは初めて」ということが各地で起こっている。防災・減災の観点で、築堤してもすべての洪水を防ぐことはできないということは発信し続けたい。
- 加東市では、ハード対策を進めていくため、平成25年度に「加古川整備推進室」を設けて、滝野地区の用地について、移転を進めており、今回の河川整備を進めるうえでの当市の役割の一つと考えている。
- 平成16年に浸水した家が平成25年にも浸水しており、被害を受けた方は9年経っても何も変わらないという思いを持たれている。加東市としても頑張るので、整備の推進をよろしくお願いしたい。



ソフト対策例：避難に関する啓発活動（マイ防災マップ）

○住民の方が、過去に経験した災害の情報や、浸水想定区域図(国・県)、ハザードマップ(自治体)を参考に、避難場所までの経路上にある危険箇所や必要な防災情報などを住民自ら地図に記載したものです。

1. 地区説明会

マイ防災マップ作成に向け、地区役員の方などに説明を行います。

地区内のマップ作成範囲や対象になる住民への周知方法、ワークショップ開催時期などを調整します。



2. ワークショップ開催

住民の方に集まっていただき、浸水想定区域図などに一次避難場所や指定避難所までの経路などを書き込みます。

経路上の危険な場所や、必要な防災情報なども書き込まれ、使いやすい情報に仕上げます。



3. まちあるき(確認)

ワークショップで作成したマップを元に、実際に避難経路を歩いて危険な場所などを確認します。

住民の方々に現地とマップを確認してもらって、マイ防災マップが完成します。



マイ防災マップ作成のイメージ

重ねるハザードマップとは？

01

わがまちハザードマップとは？

防災に役立つ様々な情報を1つの地図上で自由に重ねて表示することができます

全国の市町村が作成したハザードマップを地図や災害種別から簡単に検索することができます

必要な情報を自由に重ねあわせる

防災に役立つ情報を一元的に閲覧できます

閲覧できる情報

洪水浸水想定区域
河川氾濫により浸水が想定される区域と浸水深が全国シームレスに閲覧可能。

道路冠水想定箇所
アンダーパスなど、大雨の際に冠水し、車両が水没するなどの重大な事故が起きる可能性がある箇所。

緊急輸送道路
災害直後から、救難・救助・物資供給等の応急活動のために、緊急車両の通行を確保すべき重要な道路。

事前通行規制区間
大雨などで土砂崩れや落石の恐れのある箇所について、規制の基準を定めて、災害が発生する前に通行止めなどの規制を実施する区間。

その他に閲覧できる情報

- ・津波浸水想定区域
- ・明治期の低湿地
- ・土砂災害危険箇所
- ・都市圏活断層図
- ・土砂災害警戒区域等
- ・火山基本図
- ・過去から現在までの空中写真
- ・火山土地条件図
- ・土地条件図
- ・色別標高図
- ・沿岸海域土地条件図
- ・自由な色別標高図
- ・治水地形分類図
- ・大規模盛土造成地

<活用例 1>

「土石流危険渓流」+「事前通行規制区間」+「洪水浸水想定区域」+「道路冠水想定箇所」

大雨時に通行が規制される箇所、リスクのある場所を地図上に表示することにより、事前に避難ルートの検討を行うことができます。

<活用例 2>

「都市圏活断層図」+「大規模盛土造成地」+「急傾斜地崩壊危険箇所」

活断層の位置、がけ崩れのおそれがある場所、人工的に盛った地盤の場所を重ね合わせて、地震に関する様々な災害危険性を把握できます。

わがまちハザードマップトップページ

地図から選択する

災害種別から選択する

青色で表示されている市町村はインターネットでハザードマップを公開しています

〇〇県××市
津波ハザードマップ
インターネットで公開している。公開URLを照く

各市町村のページ

洪水、内水、高潮、津波、土砂災害ハザードマップを公開していることがわかります

各市町村のハザードマップ公開ページに移動しハザードマップを閲覧できます

閲覧できる主な情報

洪水ハザードマップ

河川が氾濫した時に想定される浸水域や浸水深、避難場所等を表示

東京都大田区洪水ハザードマップ

内水ハザードマップ

下水道等の排水能力を超えた大雨の際に想定される浸水域や浸水深を表示

東京都港区浸水ハザードマップ

高潮ハザードマップ

台風等の影響により、海水が堤防を越えて浸水が想定される地域と浸水深を表示

山口県下関市高潮ハザードマップ

火山ハザードマップ

火山噴火により噴石、火砕流、融雪型火山泥流等の影響が及ぶ範囲を表示

北海道白老町樽前山火山防災マップ

津波ハザードマップ

津波が陸上に押し寄せたときの浸水域や浸水深を表示

高知県高知市津波ハザードマップ

土砂災害ハザードマップ

土砂災害（急傾斜地の崩壊、土石流、地すべり）の発生危険地域を表示

栃木県宇都宮市土砂災害ハザードマップ

震度被害(ゆれやすさ)マップ

地震時の、震度などの揺れの大きさを表示

静岡県三島市揺れやすさ・防災マップ

地盤被害(液状化)マップ

地震時に発生する液状化被害の可能性を表示

愛知県西尾市液状化危険度マップ

ある地点の自然災害リスクをまとめて調べることができます

＜例＞居住地（〇〇県××市）の災害リスクを調べる

現在地から検索



スマートフォン等のGPS機能を活用し
現在地を取得

住所から検索



ハザードマップポータルサイトトップページより
住所検索フォームに住所を入力

地図から検索



「リスクをまとめて調べる」を選択し
調べたい場所をクリック



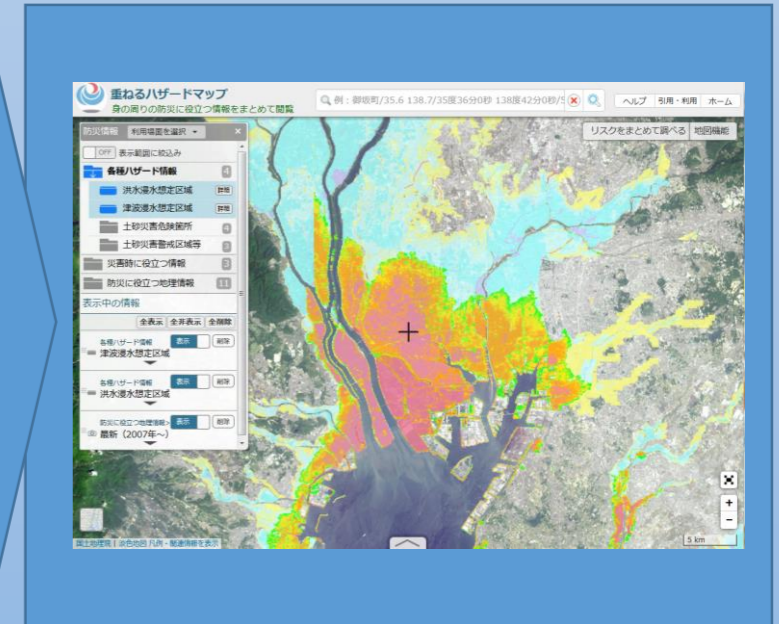
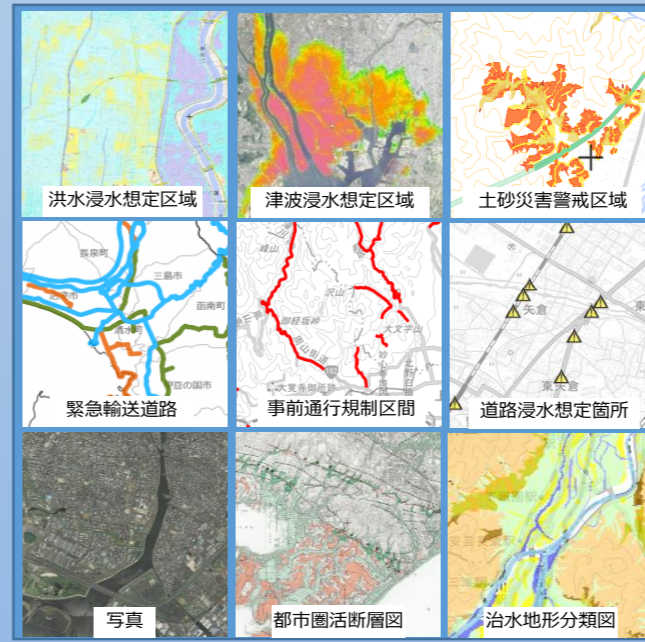
ある地点の自然災害リスクを確認できます



市区町村名をクリックすることにより、
「わがまちハザードマップ」の
該当市町村ページへリンクします。

各市町村の公開している
ハザードマップが表示されます

重ねるハザードマップ 防災に役立つ様々な情報を自由に重ねて表示できます



国土交通省ハザードマップポータルサイト

全国の防災に役立つ情報を閲覧できます

URL:<http://disaportal.gsi.go.jp/>

ハザードマップ

検索

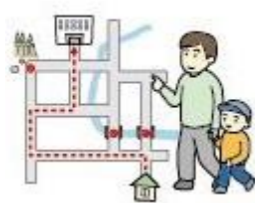


わがまちハザードマップ
全国各市町村のハザードマップを検索できます

国土交通省ハザードマップポータルサイトの活用例

住民

- ・避難ルート、避難方法の検討
- ・自宅付近の災害リスク確認
- ・浸水対策の検討
- ・地震対策の検討



行政

- ・防災計画、避難計画等の策定
- ・周辺市町村の災害リスクの確認
- ・公共施設の立地検討、安全度評価
- ・住民への注意喚起

